

2763

4-1-237

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十一月四日後發

同 六年十一月五日前着

電信第一一九二號（暗）

本官發齊々哈爾宛電報第二一號

大臣宛電報第一〇五號馬占山ヲ中心トスル地方維持會組織案ハ不取  
 敢館員ヲシテ坂垣參謀ニ通報セシメタル處其際坂垣參謀ハ馬占山カ  
 驅逐セラレタル後ノ地方維持會ナラハ兎ニ角馬ヲ其儘トシテ形式ノ  
 ミヲ變更シ之ニ若干ノ日本人顧問ヲ配スルカ如キハ余ク無意味ナル  
 ノミナラス之ヲ馬ニ強要スルハ支那内政ニ對スル干涉ト言フノ外ナ  
 シ又現在ノ處馬軍ハ張軍ニ比シ優勢ナルカ如キ外觀ヲ有シ居ルモ黑  
 龍江省軍ハ東三省諸軍中最素質劣リ而モ其中比較的優良ナル分子ハ  
 悉ク國內ニ出動シ居ルニ願ミ勝敗ノ數ハ一概ニ豫斷シ難ク從テ本件

外 務 省

9.9

IMT 507

副

2763

馬占山擁立論ノ出發點タル張海鵬ニ勝算ナシトノ前提ニモ遼ニ贊同  
シ難シ軍トシテハ嫩江橋梁修繕後張軍カ北行スルト否トハ其自由ニ  
放任スル意向ナルカ何レニスルモ蘇聯ヲ背景トスル馬占山ノ如キカ  
江省ニ政權ヲ持シ居ルカ如キハ將來ノ東北各省ニ於ケル諸新政權カ  
打ツテ一丸トナリ日本及列國ノ承認ヲ得ル上ニ大ナル障害ヲ來スモ  
ノト思考シ居レリト述ヘタル趣ナリ  
尙林少佐ニ對シテハ軍司令部ヨリ本件地方維持會案ニ反對ノ旨電報  
スヘシトノコトナリ  
哈爾濱、大臣、支ヘ轉電セリ

外務省